

河川敷の草地や林を利用する鳥 カッコウの悪知恵

阿賀野川に春から夏にやってきて河川敷のアシ原や草地、ヤナギやハンノキを利用し、エサをとったり、変わった子育てをする鳥がいます。これらの鳥は群をつくらず単独でくらしています。

【カッコウ】 分類：カッコウ目 カッコウ科

ハトより大きく尾が長い鳥です。その鳴き声「カッコウ」から名前の由来がありますが、自分では巣を作らず他の鳥の巣に卵を産んで育ててもらおう「^{たくらん}托卵」をする不思議な鳥です。毛虫を好んで食べます。

【オオヨシキリ】 分類：スズメ目 ウグイス科

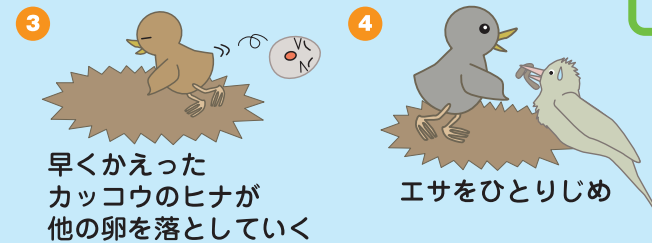
カッコウに卵を産みつけられる代表的な鳥です。主にアシ原で巣をつくり「ギョギョシギョギョシ ケケシケケシ」と大きな声でよく鳴きます。主に小さな虫をエサにしてくらしています。阿賀野川ではアシ原が多く、オオヨシキリがたくさんいるためカッコウもよく見られます。

 よく見られる場所



^{たくらん}托卵のしくみ (カッコウの悪知恵)

カッコウなどのホトトギスの仲間は、他の鳥の巣に卵を産んで育ててもらいます。



オオヨシキリ

やく
約 20cm
くちばしから尾までの長さ

全身が薄茶色

カッコウ

目のまわりが黄色

尾が長い

やく
約 35cm
くちばしから尾までの長さ